

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先	025-385-2043
------	--------------

年度	令和6年度		
施設名	新潟市横越地区公民館	所管部・課	教育委員会中央公民館
施設の設置目的	横越地区の住民をはじめ、市民に対して時代や社会的要請・変化に応じた学習機会の提供と、主体的な学習活動及びその成果を地域に活かす場を支援します。あわせて地域に開かれ、地域や人をつなぐ拠点施設としての機能を果たしていきます。公民館事業を通して地域づくりを担う人材育成、コミュニティの充実や地域活性化を推進します。		

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	R6.7.19
歳入	782	正職員	3	修正日	R7.7.4
歳出	10,970	会計年度任用職員	3	評価日	R7.7.4

No.	視点	目 標	評価指標						参考・補足	主 な 事 業 等	目 標 達 成 状 況 未 達 成 理 由	評 価
			項 目	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	R6結果				
1	市民	基準利用者数の達成	年間利用者数 15,800人以上 (単位:人)	11,873	12,221	15,383	15,800	16,496	令和5目標を据え置き設定。		地域等との連携深化や新規事業 など、利用の裾野を広げる工夫をし た結果、目標を達成した。	B:達成
2	市民	事業満足度	アンケート調査による事 業満足度95%以上 (単位:%)	97	99	97	95	98		主催事業にてアンケート実施	事業への満足度を肯定的にとらえて いる割合が98%と、目標達成した。	B:達成
3	市民	自主グループ化	年間自主グループ設立 数 2件 (単位:件)	2	2	1	2	0	主催事業参加者の自主グルー プ化を支援	主催事業	講座や事業への満足度は高かった が、参加者同士の関係づくり構築ま でいかず、目標達成できなかった。	C:未達成
4	財務	施設利用者一人当たりの運 営経費	施設利用者一人当たり の運営経費930円以下 (単位:円)	945	841	646	930	581	光熱費の上昇と温暖化による電 気料の増加が見込まれることか ら、R5目標を据え置いた。	施設維持管理費の削減 (省エネや消耗品費等の削減)	利用者数増の中でも、施設の効率 的運営に努めた結果、目標達成し た。	B:達成
5	財務	施設年間使用料の確保	施設使用料収入年間 495千円以上 (単位:千円)	409	492	488	490	492	一定の利用者増と効率的運営 を加味し、前年度実績並み		前年度に比べ年間利用者数増によ り、前年度比より微増となり、目標 を達成した。	B:達成
6	業務	学校・地域団体と協働	年間協働事業開催数2 件 (単位:件)	2	3	7	10	13	小中学校、コミ協、NPO、企業 地域活動団体等との連携協働	よこごしがつつり塾、こどものあ そびば、横越ごはん塾、文化 祭、人権啓発講座等	小中学校、地域コミ協、NPO法人等との共 有・共感・共動のもと、地域課題等に対応す る多様な事業に取り組み、目標を達成した。	B:達成
7	業務	安全確保体制の確立	消防訓練実施数2回 (単位:回)	2	2	2	2	2		消防訓練(通報・消火・避難・ AED操作)	消防計画に基づき、年2回実施。目標 を達成するとともに、防災意識を確認し た。	B:達成
8	人材	人材育成	研修受講の年間回数	18	26	23	20	20	公民館主催研修 市・県等主催研修	・市及び公民館職員研修 ・専門的知識・技術向上研修	生涯学習関係の研修や専門知識・技 術向上に資する研修等に参加するな ど、目標を達成した。	B:達成
9												
10												

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
当公民館は横越地区の住民を中心に、市民の学びやつながり、想いをカタチしていく場として、地域や人との関係づくりを大切にしています。当公民館のグランドデザインのもと、学び(事業)を通してコミュニティの形成や人材育成、地域づくりを進めるため、事業の満足度や自主グループ化、学校・地域団体等との協働を指標としています。 また、公費や使用料で運営する公共施設として、計画的かつ効率的な施設管理や利用者の安心・安全性を確保する指標も設定しています。 これら事業の資質向上及び健全な施設管理のため、現場で生かせる職員研修(受講回数)を目標設定しています。	横越地区の住民を中心に、地域や学校等との連携を深化させ、学びの場や体験の場の質的向上を行った。方向性は以下のとおりです。 ・当公民館のグランドデザインに基づき、地域や学校、関係機関・団体等が持つ資源(ハード・ソフト)を相互活用し、地域づくり・人づくり・居場所づくりの場を構築する。事業の質的向上を前提に、継続または統合(廃止)、新規取り組みを進める。特に学校と課題を共有し、こどもの居場所や食育などを中心に、こどもの社会体験(交流)事業に力点を置く。 ・横越小・中学校区運営協議会に参画し、社会教育の視点から地域や学校と協働で地域課題の解決や人材育成につながる事業等を展開する。 ・障がいのある方の学びと社会参加につなげるため、横越地区内障がいサービス事業所等と連携し、障がいのある方と社会(地域)をつないでいく場の支援を行う。